

きぎずな

平成 24年 3月発行
石垣エスエスグループ
総務部広報室編集局
石垣市登野城 69番地
TEL : 0980-84-1738
http://issg.co.jp

ちぎぎタイム
「最近気が付いたこと…」

つい最近のことですが、市街地のあちこちで停止線や横断歩道などの線の引き直しが行われているのを目にするようになりました。

いままでの石垣市街の道路事情はといえますと、日差しや気温のせいなのか停止線や横断歩道、センターラインなどがかすれてしまっていて見えにくかったり、場所によっては全ての線が完全に消えてしまっている横断歩道の道路標識の看板だけがぼつんと寂しげに立っているようなところもあり、いつ事故が起こってもおかしくはないという非常に気がかりな状態ではありません。

そんな状況を反映してか、やはり信号待ちでは本来停止すべき位置を飛び越えて横断歩道内に入り込んで停止する事も日常茶飯事、横断をしている歩行者がいるのにもかかわらず平気で通行していく乗用車も見受けられ、運転マナーについては観光客のブログや観光案内のホームページにやり玉に挙げられ観光を基幹産業に頼んでいる地域としては心もとないのではと思っております。

今回のこの塗装のし直しで、停止線や横断歩道などが鮮やかな白線に生き返って遠目にもしっかりと確認ができるようになりました。

その効果が表れてきているのか、最近ではきちんと停止線で止まっている乗用車を見かける事が多くなってきたような気がします。

この状態がずっと続いて運転マナーの向上が進んでいき、観光で訪れた人のブログなどに石垣島の運転マナーは・・・といった事も書き込まれなくなり、お年寄りや小中学生といったたいわゆる交通弱者が安心して道路を歩けるような、真に日本一住みやすい街石垣島が達成され、他府県の皆様からの印象が良くなっていることを願っています。

あきお



「石垣エスエスグループ 親睦ボーリング大会・懇親会開催」

去る二月二十五・二十七・二十九日の三日間にわたって石垣エスエスグループの各事業所合同ボーリング大会と懇親会が開催されました。

石垣エスエスグループ社員六十五名が参加した大会は、好プレー、珍プレー、ハッスルプレーの連続で男子総合優勝は石垣給油所宮良毅さん332点、女子総合優勝はメイクマン比嘉友美さん335点という好成績でした。

ボーリング後には懇親会もあり、日頃はあまり話さない人や初めて会う人達との親交を深める場となりました。



「第十回・花と緑の街角コンテスト」

「育てて！感じて！楽しんで！花と緑の輪を作ろう！」

八重山郡域内で「花と緑で彩られている街角づくり」を行なっている個人、職場（学校は除く）、通り会の皆様、自薦、他薦を問わず、自慢の「花と緑の街角写真」を撮って応募していただき、応募作品の中から優秀作品を三月十六日発行の八重山毎日新聞紙面でご紹介いたします。

主催：「八重山毎日新聞」、協賛：「メイクマン石垣店」、募集期間：二〇一二年二月五日～二月十二日 到着分までとなります。



※応募用紙は「メイクマン石垣店」、「八重山毎日新聞」で配布しています。みなさまのたくさんのご応募を心よりお待ちしております。



「職場放浪記」・カーブス石垣島専任 宮良 有里さん

各事業部の皆様、日々の業務お疲れ様です。お陰さまでカーブスがスタートして早3年目を迎えるようになっています。立ちあげ当時は新事業部という事もあり各事業部にチラシ配布等をご協力いただき感謝しております。また、カーブスを知ってもらおうとあらゆる企業、店舗を駆け回った事も今では懐かしさを感じます。

私自身フィットネス未経験から始めて、失敗や不安はありましたが毎回カーブスに来る事を楽しみにされている家族のようなメンバーさんと接している中で、筋トレをすることの大切さをたくさん学ばせてもらい、いっぱい元気をもらっています。メンバーさんの笑顔が私を励ましてくれているようです。(笑)

そんな笑顔があふれるカーブスで最近会ったうれしいニュースをお届けしたいと思います。

入会してもうすぐ3年になる六十代のKさん。カーブスに来られる前は正座が出来ないほどの膝の痛みがあり、日頃まったく運動をしないせいか背中や腰にまで痛みがありました。その様子を心配したお友達に誘われて入会、お友達と楽しく通えた事も成果なのかもしれません。だんだん変化が出てきて、今までできなかった正座もできるようになり、機が付けば体重も6kgのダウン！

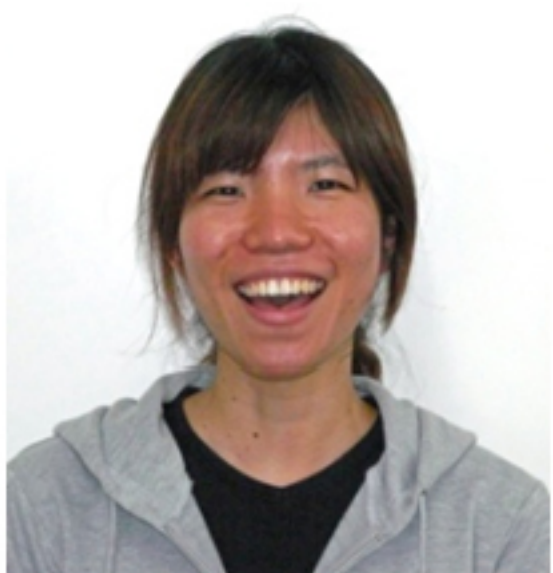
ところがそんな頑張っていたKさんの姿が1ヶ月を経っても見られなくなり、心配していたある日久しぶりに来たKさんは疲れ果てて元気がありませんでした。それもそのはず運動をお休みしていた為に良くなってきた腰痛が悪化して歩くのも椅子に座るのもゆっくり、コルセットを腰にしていたが寝起きするのも一苦労。まるで別人のようでした。

さらに追い打ちをかけるように「骨がスカスカで八十代くらいの骨密度」だと病院で診断されひどく落胆されていました。でもいつまでも落ち込んではいられないと腰に負担がかからないようにストレッチ中心のトレーニングから再スタート。ちよつとずつ腰も楽になり、いつもどおり筋トレができるまでに回復しました。

そしてKさんに最近また嬉しいニュースが、心配していた骨密度が六ヶ月後には5%もアップ、先生には「カーブスはこれからも続けなさい。」とのうれしい言葉。

Kさんには「私はカーブスに来なかったら何も(運動すら)やってなかったよ、全て筋肉なんだね」と、筋トレの大切さを実感されています。そうやってメンバーさんが体の変化を感じ元気になっていく姿に、私たちは感動させられるのです。

カーブスの使命は正しい運動習慣をお伝えし、広めていくことです。メンバーさんが筋トレの大切さをお友達に、ご家族に伝えてくださっていることにとっても感謝しています。



カーブスにはこんな言葉があります。体が変われば心が変わる。心が変われば毎日が変わる。毎日が変われば人生が変わる。これからもこの言葉を胸に筋トレの大切さを伝えていきます。